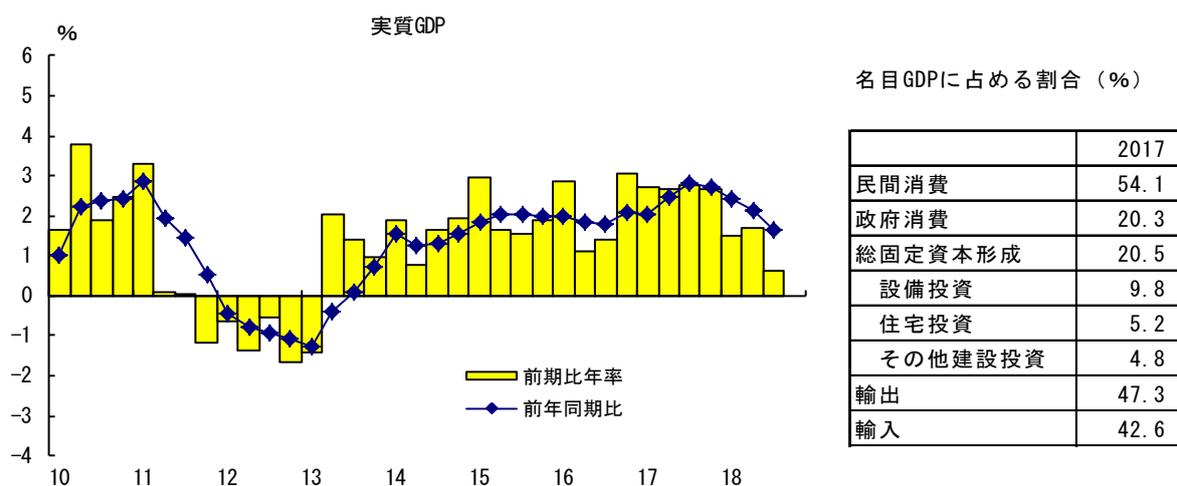


ユーロ圏 GDP

- 15年Q4以降のGDPに修正が加えられ、18年Q3の実質GDP成長率は前期比+0.155%から同+0.158%とわずかに上昇修正された
- Q3の総固定資本形成は前期比+0.2%から同+0.7%に上方修正。内訳の3項目はすべて上方修正されたが、中でも設備投資は同+0.4%から同+1.2%と大幅な修正となった
- 一方、純輸出のマイナス寄与は-0.3%ptから-0.4%ptに拡大した



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3
実質GDP	0.5	0.7	0.3	0.4	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4	0.2
個人消費	0.5	0.6	0.3	0.3	0.6	0.4	0.5	0.5	0.2	0.5	0.2	0.1
政府消費	0.4	0.8	0.2	0.2	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.0	0.4	0.3
総固定資本形成	2.8	0.7	1.2	0.6	1.6	-0.7	2.1	-0.1	1.3	0.1	1.6	0.7
設備投資	4.4	0.6	2.0	0.1	2.0	-2.4	3.3	-1.8	2.4	-0.3	1.8	1.2
住宅投資	0.8	1.6	1.3	1.6	1.3	1.0	1.4	0.9	1.2	0.8	0.9	0.7
その他建設投資	1.1	0.1	-0.9	0.9	1.1	1.2	-0.0	3.0	-1.1	0.4	1.8	-0.4
輸出	0.8	0.6	1.2	0.4	1.5	1.8	1.0	1.3	2.2	-0.7	1.2	0.1
輸入	2.4	0.7	1.1	0.5	2.0	0.4	1.3	0.2	1.8	-0.6	1.3	1.0

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

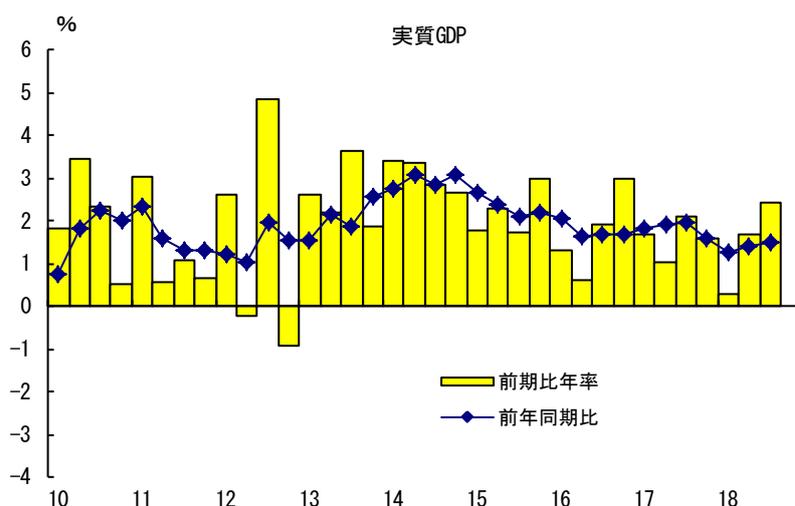
	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3
実質GDP	0.5	0.7	0.3	0.4	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4	0.2
個人消費	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1	0.1
政府消費	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
総固定資本形成	0.6	0.2	0.2	0.1	0.3	-0.2	0.4	-0.0	0.3	0.0	0.3	0.2
設備投資	0.5	0.1	0.2	0.0	0.2	-0.3	0.4	-0.2	0.3	-0.0	0.2	0.1
住宅投資	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
その他建設投資	0.1	0.0	-0.0	0.0	0.1	0.1	-0.0	0.1	-0.1	0.0	0.1	-0.0
在庫変動	0.2	0.0	-0.2	0.1	0.2	-0.1	-0.0	-0.2	-0.1	0.2	-0.1	0.3
輸出	0.4	0.3	0.5	0.2	0.7	0.8	0.5	0.6	1.1	-0.3	0.6	0.1
輸入	-1.0	-0.3	-0.5	-0.2	-0.9	-0.2	-0.6	-0.1	-0.8	0.3	-0.6	-0.4
純輸出	-0.6	-0.0	0.0	-0.1	-0.2	0.7	-0.1	0.5	0.3	-0.1	-0.0	-0.4

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 18年Q3の実質GDP成長率は前期比+0.6%と加速。最大のけん引役は個人消費だが、2四半期連続でマイナス寄与となっていた純輸出もプラス寄与に転換した
- 9-11月のGDP成長率は3カ月前比+0.3%に減速した。鉱工業部門が同-0.8%とマイナスに転じたのが主要因
- Q4のGDPは2月11日に発表予定



名目GDPに占める割合（%）

	2017
民間消費	65.7
政府消費	18.3
総固定資本形成	17.1
政府部門	2.7
企業部門	9.5
民間住宅投資	3.5
輸出	30.1
輸入	31.3

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3
実質GDP	0.7	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.3	0.5	0.4	0.1	0.4	0.6
個人消費	0.1	1.1	0.8	1.1	0.0	0.7	0.4	0.5	0.3	0.3	0.5	0.5
政府消費	-0.2	0.4	-0.1	0.0	0.0	-0.6	0.5	0.1	0.0	0.1	-0.3	-0.3
総固定資本形成	1.8	-0.0	1.6	1.5	-0.6	1.0	1.9	0.3	0.7	-0.6	-0.8	0.5
政府部門	-1.4	-1.2	8.4	2.5	-4.6	-0.4	7.5	-1.9	-0.3	-1.4	-2.3	5.0
企業部門	2.3	-1.7	0.9	1.5	-1.0	-0.2	1.3	0.9	0.4	-0.7	-0.4	-1.1
民間住宅投資	3.0	3.2	1.1	1.9	1.6	4.7	-0.3	1.2	4.9	1.8	2.1	0.9
輸出	2.0	-0.9	0.9	-3.2	6.6	0.2	1.2	1.9	0.1	-1.2	-1.4	1.1
輸入	2.7	-0.4	0.6	3.1	0.2	0.9	0.9	0.6	-0.6	-0.2	0.1	0.8

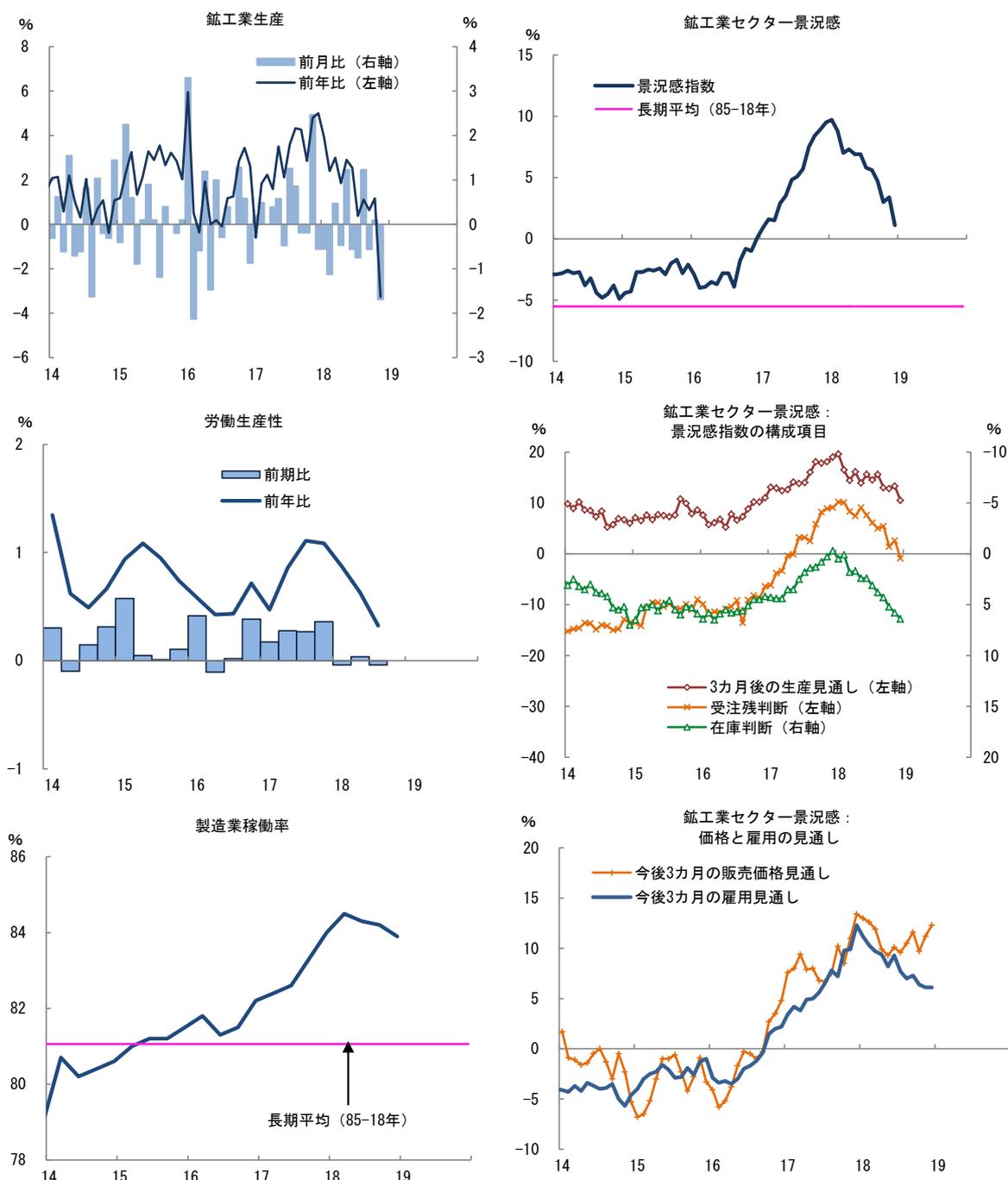
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3
実質GDP	0.7	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.3	0.5	0.4	0.1	0.4	0.6
個人消費	0.0	0.7	0.5	0.7	0.0	0.5	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3
政府消費	-0.0	0.1	-0.0	0.0	0.0	-0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	-0.1	-0.0
総固定資本形成	0.3	-0.0	0.3	0.2	-0.1	0.2	0.3	0.0	0.1	-0.1	-0.1	0.1
政府部門	-0.0	-0.0	0.2	0.1	-0.1	-0.0	0.2	-0.1	-0.0	-0.0	-0.1	0.1
企業部門	0.2	-0.2	0.1	0.1	-0.1	-0.0	0.1	0.1	0.0	-0.1	-0.0	-0.1
民間住宅投資	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	-0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0
在庫変動	-0.5	0.2	-0.6	1.0	-0.1	-0.4	-0.4	-0.2	-0.1	0.2	0.7	0.1
輸出	0.6	-0.3	0.3	-0.9	1.8	0.0	0.4	0.6	0.0	-0.3	-0.4	0.3
輸入	-0.8	0.1	-0.2	-0.9	-0.0	-0.3	-0.3	-0.2	0.2	0.1	-0.0	-0.2
純輸出	-0.2	-0.1	0.1	-1.8	1.8	-0.2	0.1	0.4	0.2	-0.3	-0.4	0.1

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 11月の鉱工業生産は前月比-1.7%、前年比-3.3%と共に大幅なマイナスに転じた。特に、前年比では12年11月以来の大幅なマイナス幅を記録
- セクター別で見ると、製造業が前年比-3.1%の大幅減。電気機器、輸送用機器、化学製品・医薬品が大きなマイナス寄与となった
- 鉱工業セクター景況感指数は12月に再び悪化。すべての構成項目が悪化した

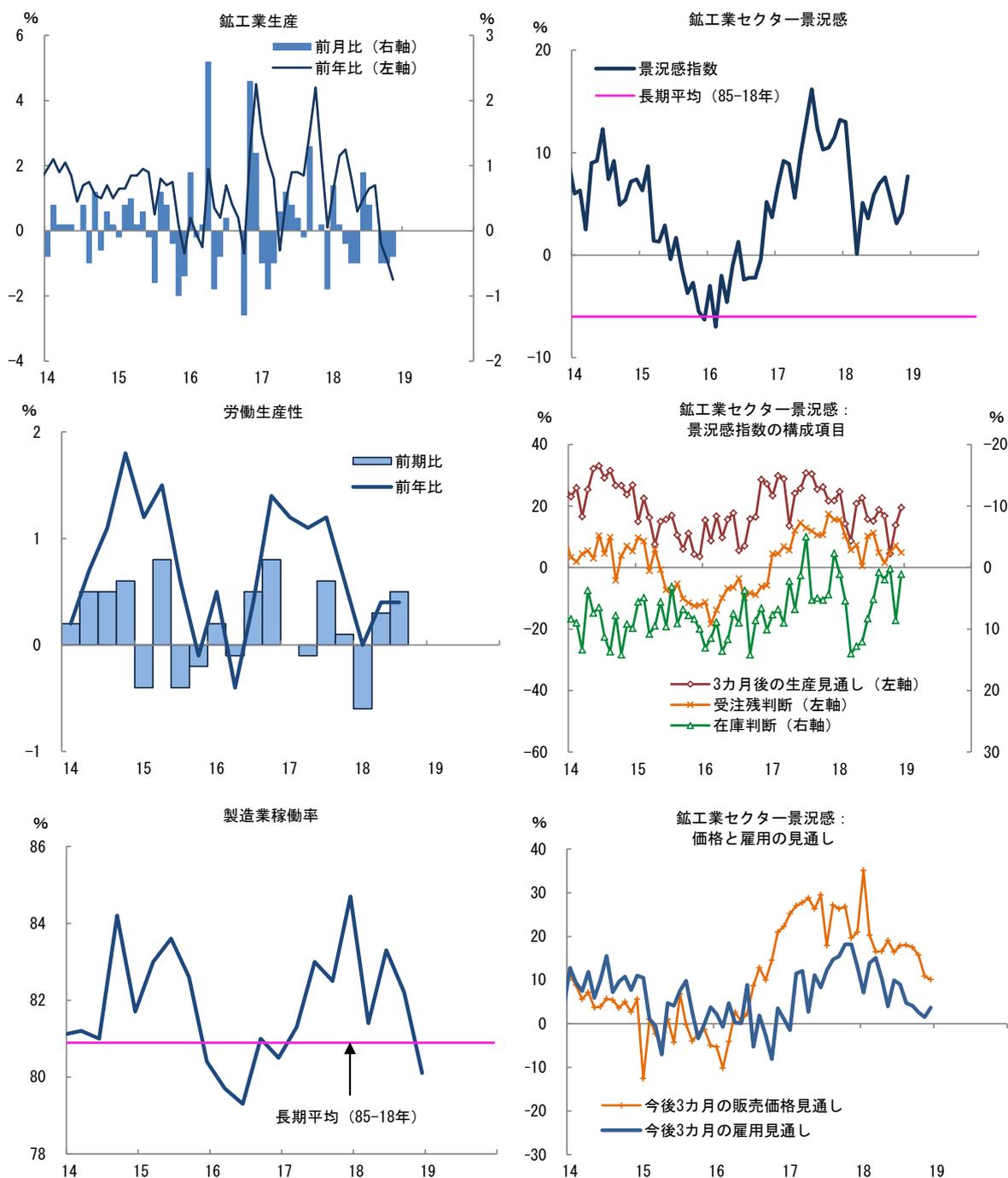


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 11月の鉱工業生産は前年比で-1.5%と減少幅が拡大。主要因は前年割れとなったベースメタル・金属製品、電気・ガス・エアコンであった。輸送機器生産の減少も続いている
- 鉱工業生産を前月比で見ると、11月は3カ月連続の減少で-0.4%。主要因は前年比と同様だが、生産ラインのメンテナンスにより鉱業・採石の生産も同マイナスに転じた
- 12月の鉱工業セクター景況感は2カ月連続で前月比改善。構成項目のうち、生産見通し及び在庫判断が改善した

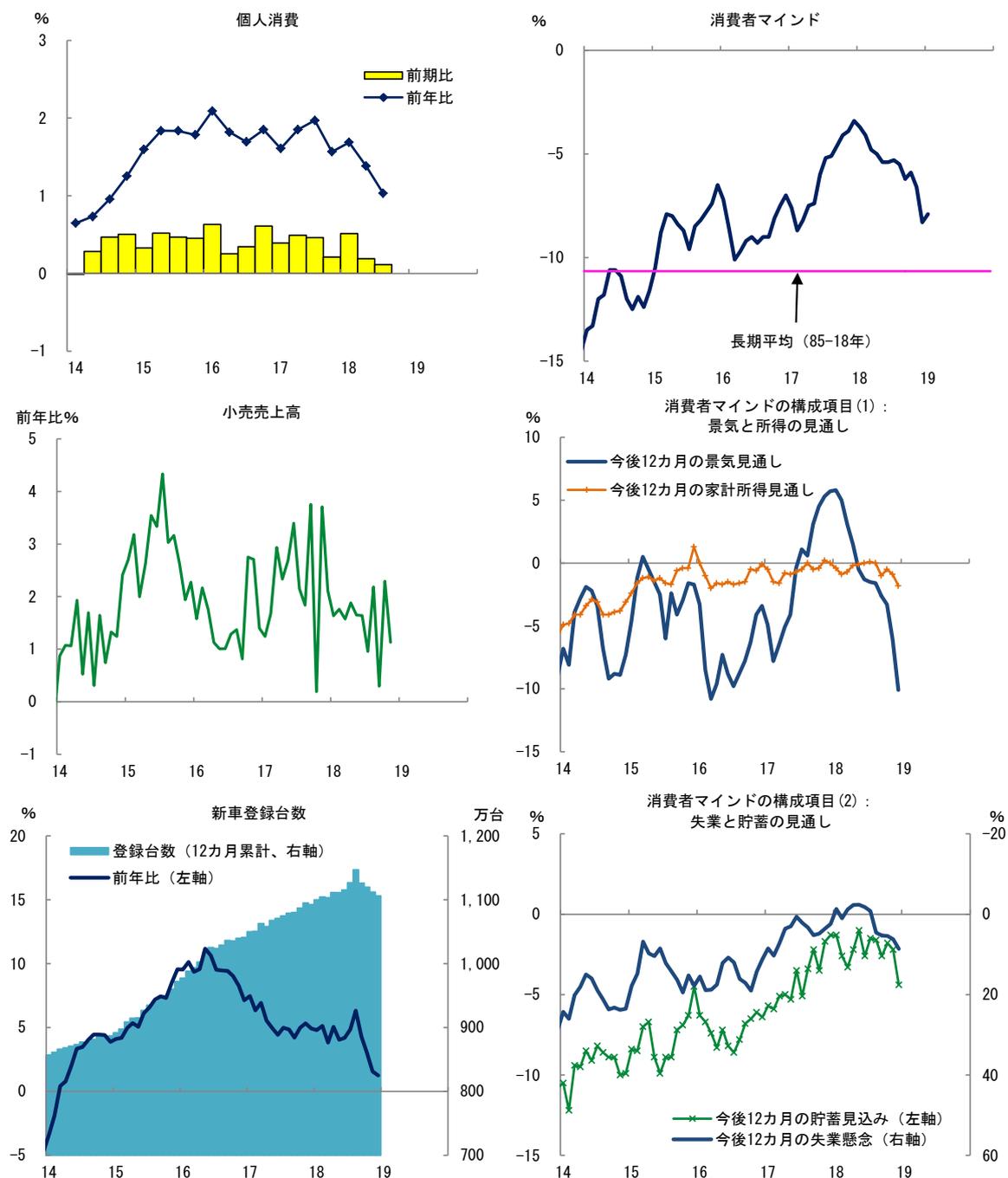


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 11月の小売売上高は前年比+1.1%に減速。PC関連機器売上は減速、衣類・履物は前年割れとなった。食品・飲料・たばこの売上も勢いが鈍化した
- 新車登録台数は18年通年で前年比+1.2%と5年連続で拡大したが、伸び率は過去5年間で最低となった。12月単月では同-7.5%と回復の兆しは見られず
- 1月の消費者マインド（速報）は前月比でわずかに改善。19年1月分より集計方法が変更され、85年1月分より遡及修正されている。1月分の構成項目は未発表

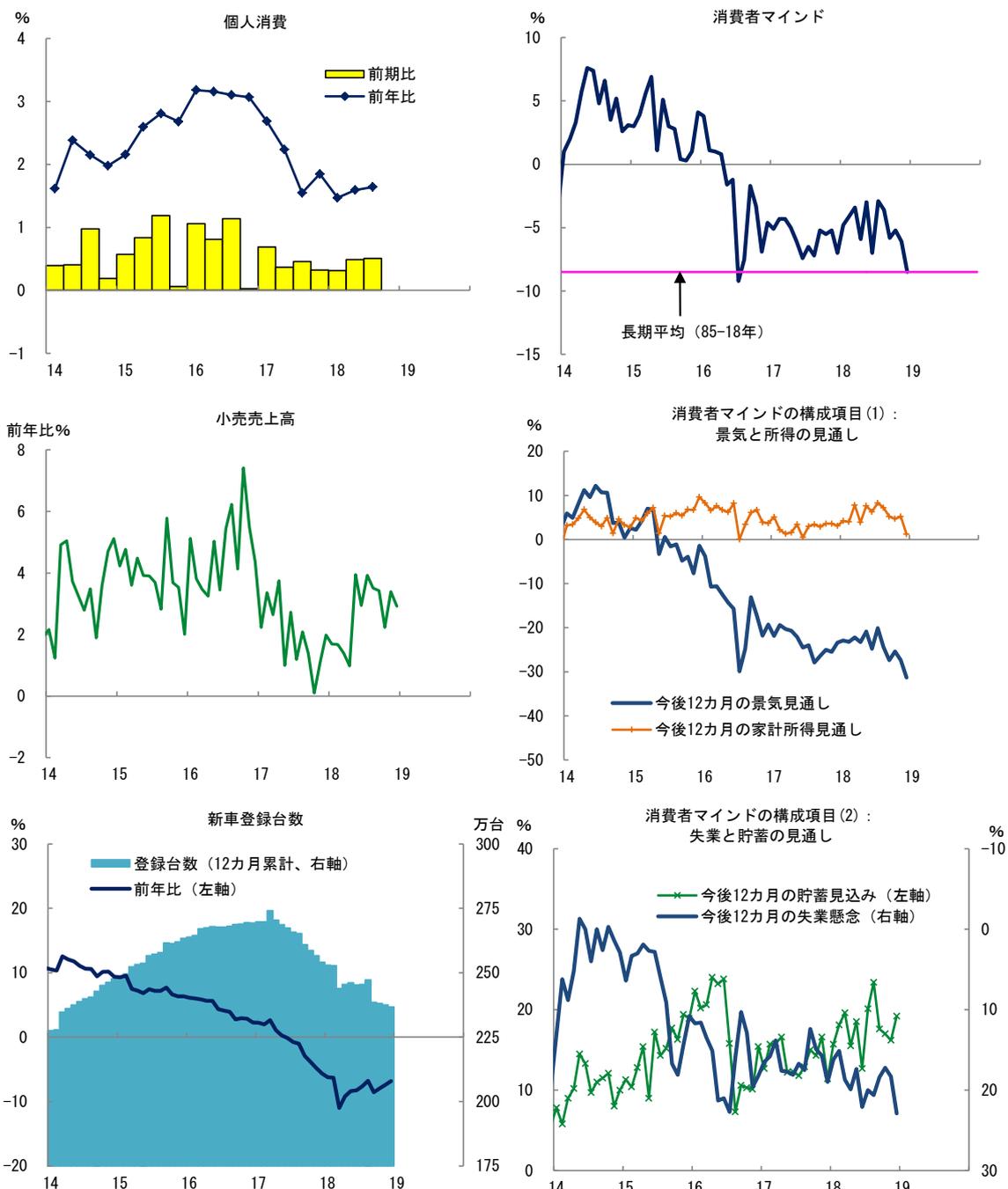


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 小売売上高は18年通年で前年比+2.7%と加速（17年通年：同+1.9%）。春～夏にかけてロイヤルウェディングやワールドカップなどのイベントが消費を押し上げた
- 新車登録台数は18年通年で前年比-6.8%となり、同-11.3%を記録した08年以来の大幅な減少を記録。12月単月では同-5.5%と前年割れが続く
- 12月の消費者マインドは、EU離脱を決定した国民投票直後の16年7月以来の水準まで悪化した

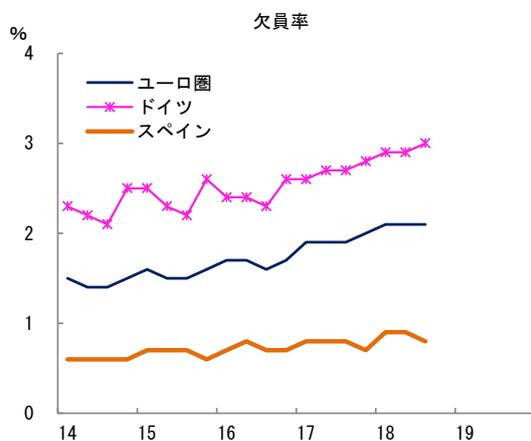
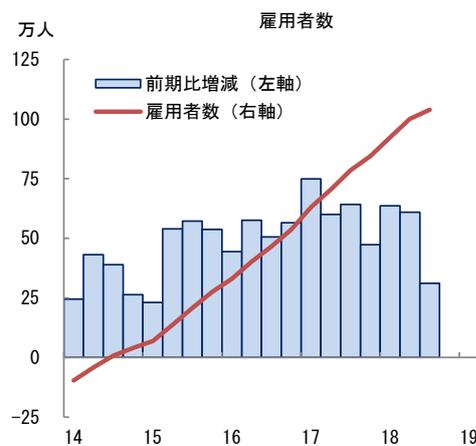
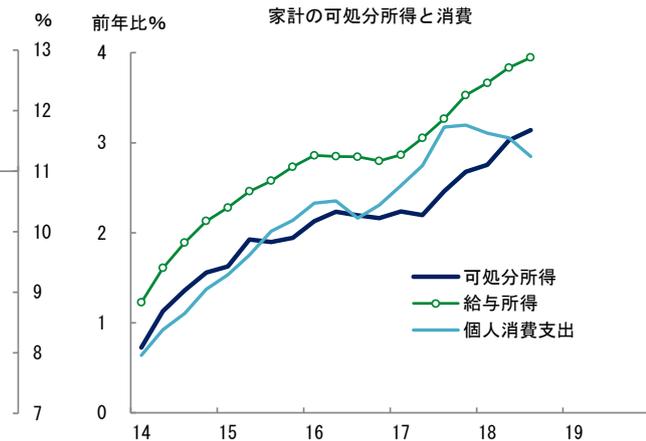
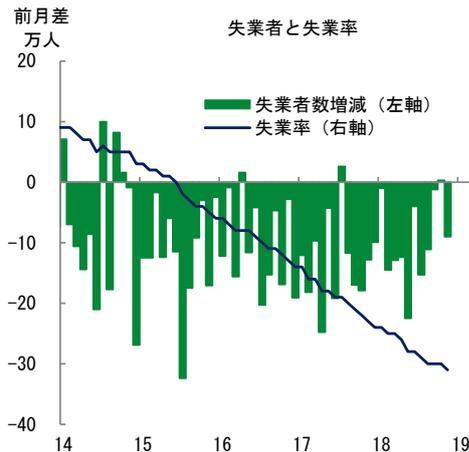


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 11月の失業率は7.9%と08年10月以来の低水準。失業者数は前月比で減少し、3カ月連続で同増加となっていた25歳未満の失業者も同減少に転じた
- Q3の家計の給与所得は前年比+3.9%、可処分所得は同+3.1%と共に加速。一方、個人消費支出は同+2.8%とQ2の同+3.1%から減速し、ピークアウトの兆候が見られる
- 貯蓄率はQ3で12.3%となり、Q2の12.1%から上昇。個人が消費を控え、貯蓄に回している状況が見てとれる

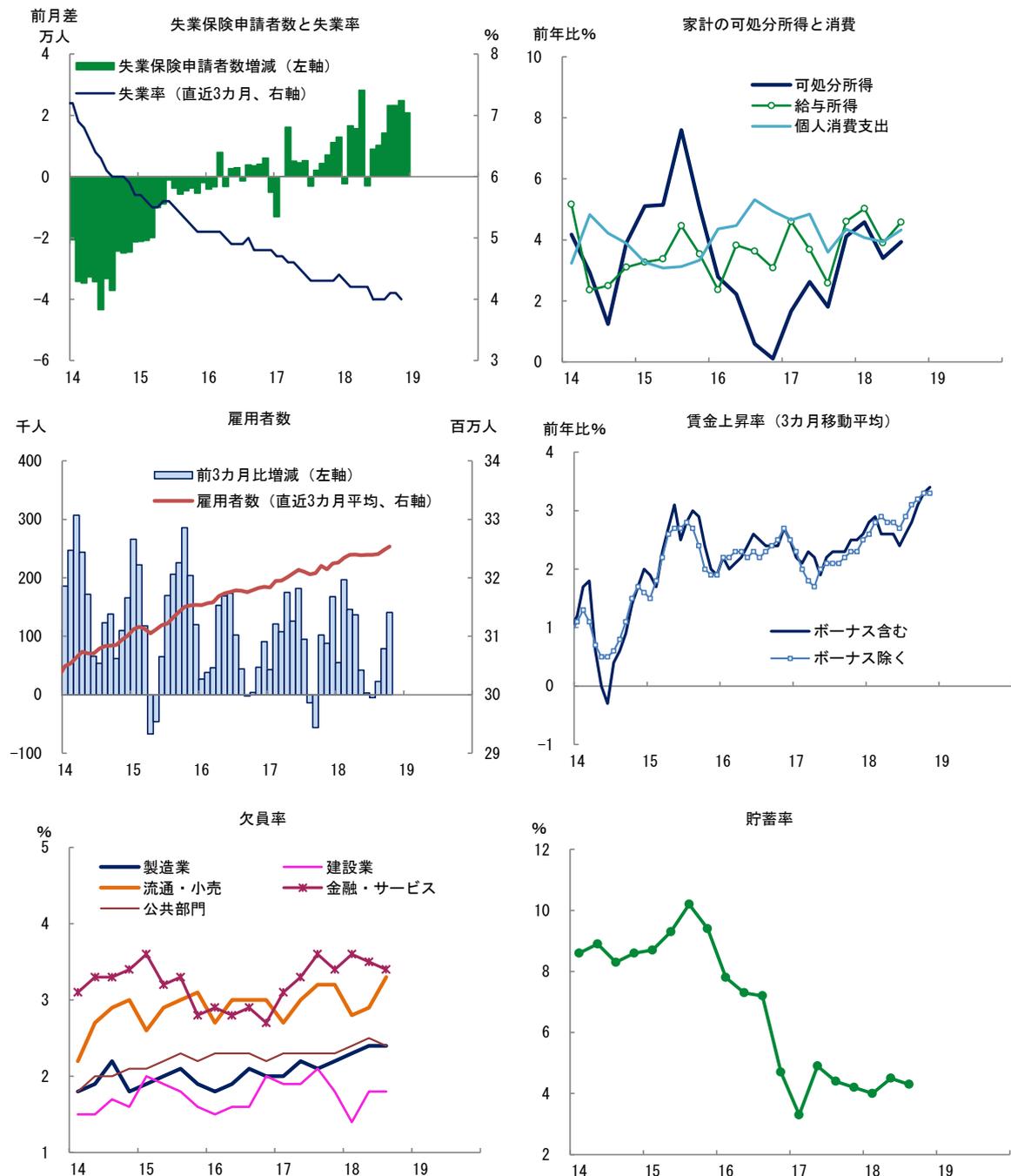


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 9-11月平均の失業率は4.0%。4-6月平均～6-8月平均と同様、75年1-3月平均に並ぶ低水準となった。雇用者数は71年2月の統計開始以来の最高を更新
- 一方、失業者に目を転じると、9-11月平均は3カ月前比で増加した。25歳以上の失業者は減少したが、25歳未満の失業者がより大幅な増加となった
- 9-11月平均のボーナスを含む賃金上昇率は前年比+3.4%と伸びが拡大した。サービス業の内訳である金融・ビジネスサービスの賃金が同+3.4%に加速

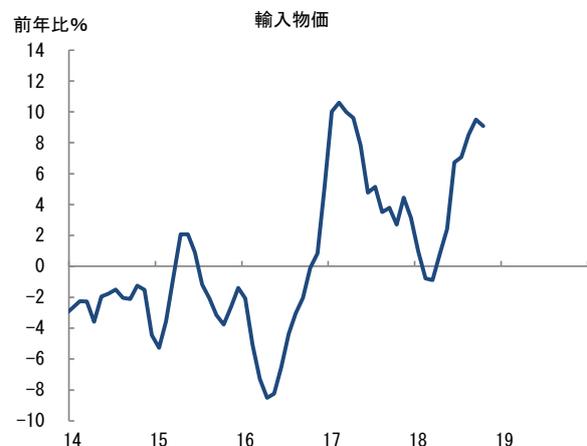
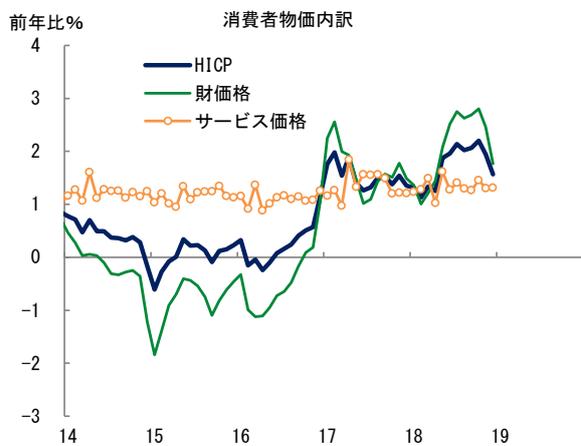
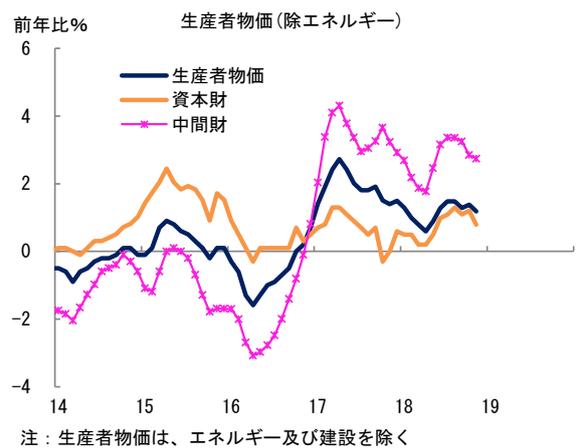


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

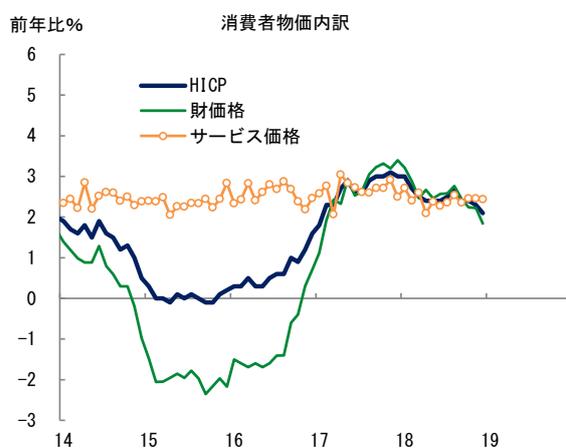
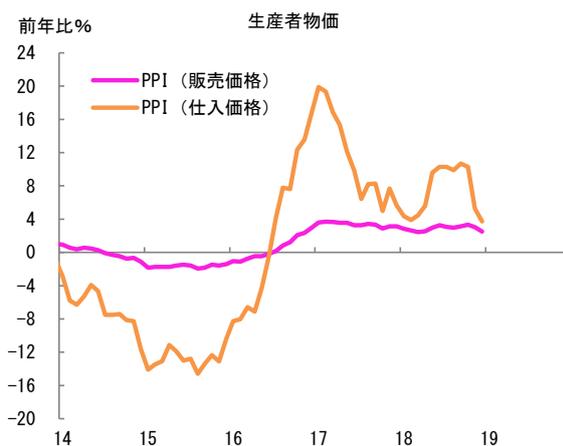
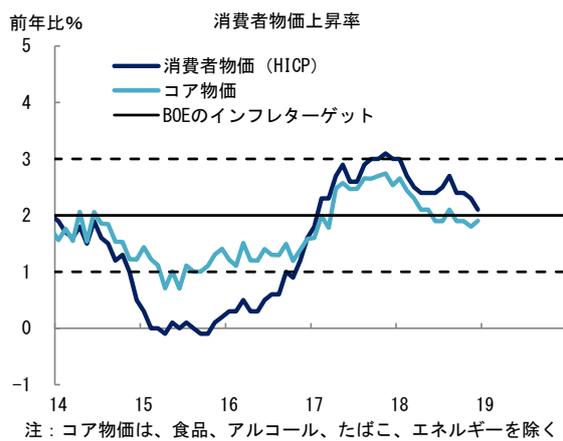
- 12月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.6%と大きく減速。原油価格急落によるエネルギー価格の伸び減速が主要因。コア物価上昇率は同+1.0%と変わらず
- 11月の生産者物価上昇率は前年比+1.2%と減速。石油・石油精製品の価格が大幅な減速となったことが主要因
- 10月の輸入物価は前年比+9.1%と7カ月ぶりの減速に転じた。原油価格は同+40%超となっていたため鉱物燃料等の価格は加速が続いたが、工業製品価格の伸びが縮小した



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

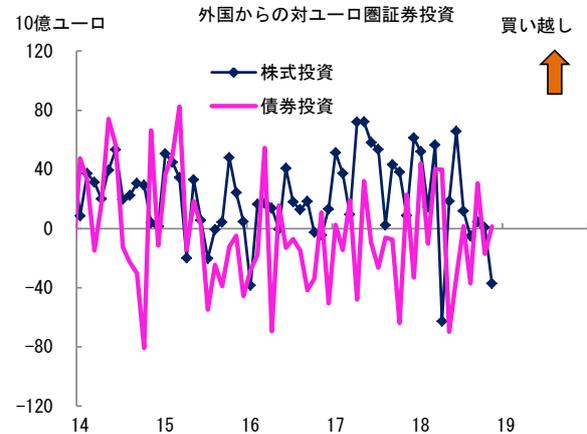
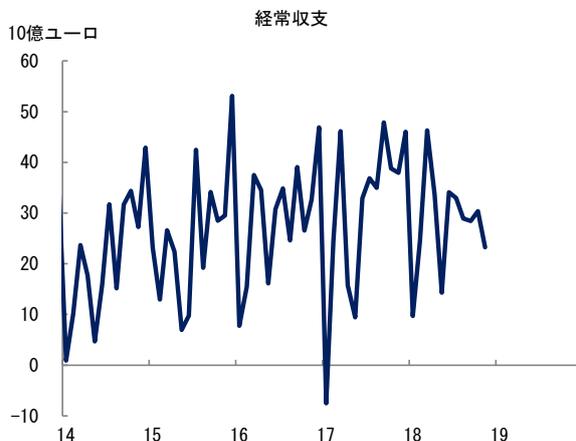
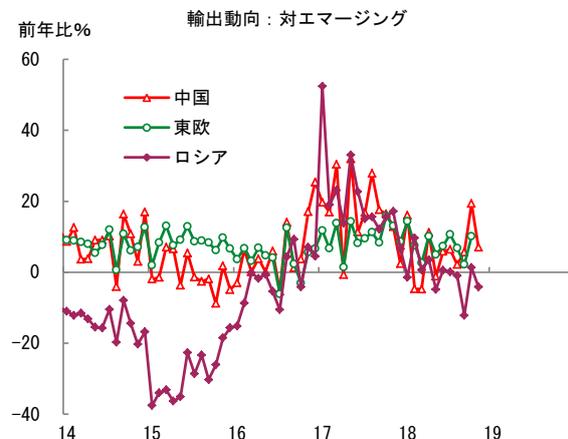
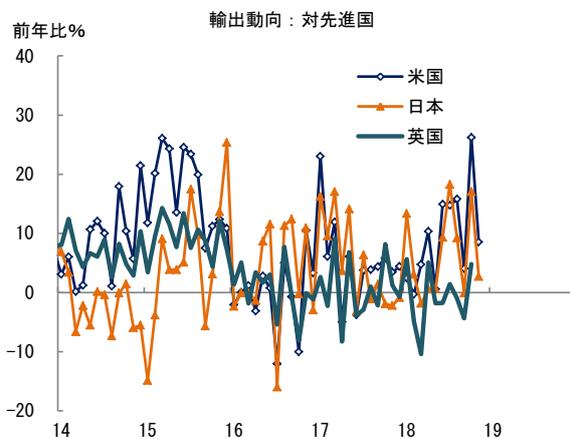
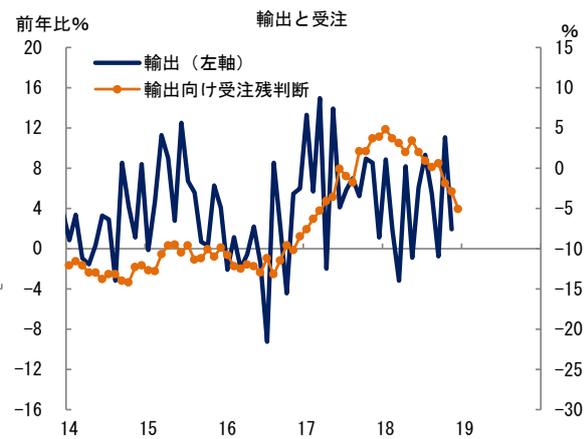
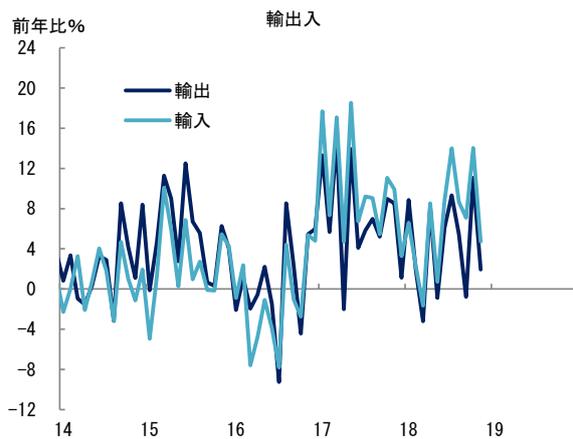
- 12月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.1%と減速。原油価格が下落したため、燃料や輸送サービスを含む輸送価格の伸びが縮小。一方、コア物価上昇率は同+1.9%と加速
- 12月の生産者物価のうち、仕入価格は前年比+3.7%に減速。ポンド安により輸入製品全般の価格の伸びは加速するも、原油価格下落の影響がより大きかった。販売価格も減速続く
- 11月の輸入財デフレーターは前年比+3.5%に減速。石油（原油及び石油製品）や石油以外の燃料価格の伸びが大きく鈍化した



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

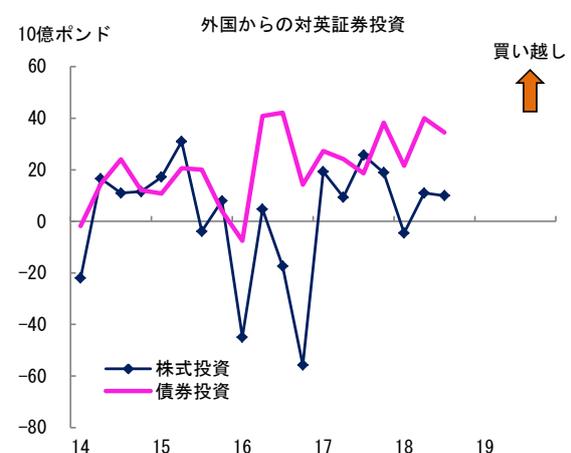
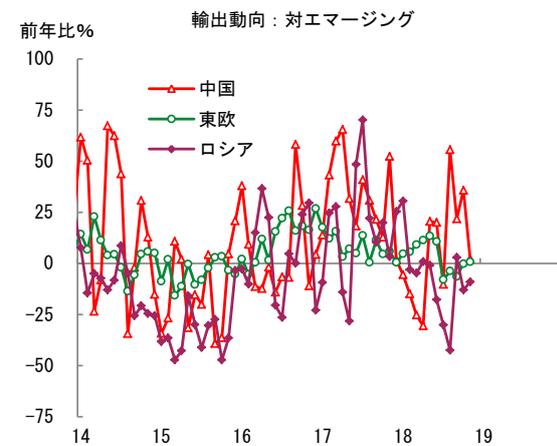
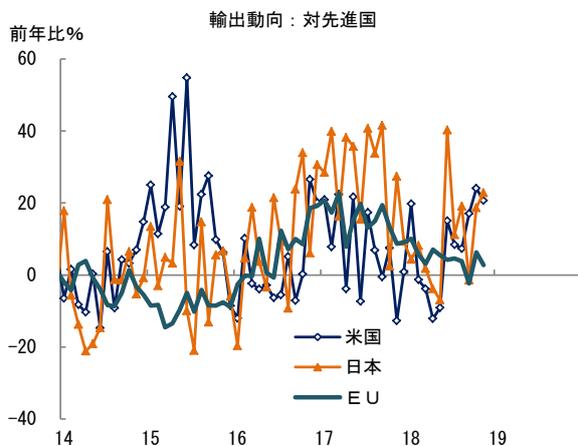
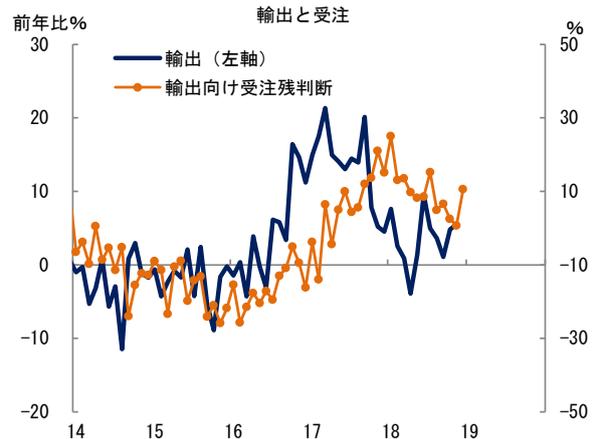
- 11月の輸出は前年比+1.9%、輸入は同+4.7%と急減速。輸出は工業製品の伸びが縮小、輸入は工業製品に加え鉱物性燃料等が大きく減速した
- 輸出相手国別で見ると、米国及び日本向けが前年比で大幅に減速した。10月にやや持ち直したエマージング向けも、中国向けが減速、ロシア向けが前年割れとなった
- 11月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は、債券投資はわずかに買い越しに転じたが、株式投資の売り越し額がそれを大きく上回った



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 11月の輸出は前年比+5.5%と加速する一方、輸入は同+4.0%と減速した
- 内訳を見ると、輸出入共に燃料の伸びは縮小し、機械・輸送機器の伸びはプラスに転換している
- 輸出相手国別では、米国及び日本向けが前年比+20%を超える伸びとなるも、EU向けは伸び悩んだ。エマージング向けは総じて不調であったが、特に中国向けは大幅に減速した



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成